

研究協力をお願い

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

分娩後の骨盤底筋の形態学的・機能的評価

1. 研究の対象および研究対象期間

2019年4月1日から2022年1月31日までのあいだに昭和大学横浜市北部病院で分娩をされた方

2. 研究目的・方法

一般的に骨盤底筋は妊娠経過とともに変化し、その変化は分娩時に最大となります。特に、経膈分娩では帝王切開での分娩と比べるとその影響は大きく、骨盤底の緩みや損傷の原因となり得ます。本研究では、経膈分娩の方と帝王切開の方の分娩後の骨盤底を比較して、実際にどの程度の損傷や緩みの影響が出ているかを比較することが目的です。本研究により、分娩時の骨盤底筋の損傷のメカニズムや危険因子の抽出を行うことで、今後の妊娠・分娩管理に役立てたいと考えております。

研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査の承認後、委員会から発行される「結果通知書の承認日」より、研究機関の長の研究実施許可を得てから、2022年12月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者背景（年齢、身長、体重、経産回数）、妊娠・分娩データ（分娩方法、分娩週数、分娩時間、出血、新生児体重、新生児体格など）、内診所見、超音波検査画像

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者

さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院 女性骨盤底センター/産婦人科 氏名：中川智絵

住所：〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1 電話番号：045-949-7000

研究責任者：

所属：昭和大学横浜市北部病院 女性骨盤底センター/産婦人科 氏名：岡田義之